## | 2025年10月19日No.15 | JR東労組千葉地方本部 | 発行者: 中曽根賢次 | 編集者: 情 宣 担 当 | ホームページ http://www.jreu-chiba.jp/

次



## 務量の増加でさらに高まる労働実感! 会社は、組合員・社員の労働実感に報いるためにも、

今職場では、融合と連携を始めとした各種施策による業務の多様化や要員 不足、インバウンドの増加等によって業務量が増加し、私たちの労働実感は 厳しさを増しています。今後もワンマン線区の拡大や組織再編、勇翔2034 が目指す究極の融合と連携により、更なる業務量の増加が予想されています。

こうした厳しい労働実感の中で組合員・社員が奮闘してきたからこそ、好調 な決算や経営が実現出来たのではないでしょうか?今一度会社は組合員や 社員の現場での奮闘に目を向けるべきです。私たちの努力に報いた年末手 当要求満額回答の実現に向けて、私たちは声を挙げるべきではないでしょう か?

兼務や相互運用による 業務量の増加

要員不足による 休日勤務の増加

組織体制の変更や、スマートメンテナ ンス等の機械化による要員削減

ワンマン運転の拡大 による業務量の増加

本人が描くキャリアプラン に沿わない異動

委員会活動、業務研究 PT活動の増加

業務量 房総特急の車掌 -人乗務による UP! 業務量の増加

激甚化する 自然災害の増加

企画業務の増加

出張や研修の増加

| 地域行事や他業種交流等 への参加の増加

バス職場における 要員不足の問題

組織再編に伴う 要員削減

訪日旅客増加による 外国人対応の増加



今後は・・

- ◇勇翔2034が目指す究極の融合と連携による更なる多能化
- ◇総武緩行線のワンマン運転拡大
- ◇組織再編や新たな人事・賃金制度導入
- ◇更なる効率化を目指した施策による要員削減



## 今まで以上の業務量の増加が予想される!

こうしたことからしても、厳しさを増す労働実感に対し、会社は満額回答で応えるべきではないでしょうか? 私たちの努力に報いた年末手当にするために、JR東労組に結集し声を上げよう!